

令和七年 医王寺お施餓鬼会のご案内

謹啓

陽春の候、檀信徒の皆様におかれましては ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より当山護持に際し、格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年も施餓鬼会法要を他寺院様出仕のもと次のとおりお勤めいたします。ご多忙のことと存じますが、ぜひ有縁の方々お誘いあってお墓参りとあわせてお越しください。施餓鬼供養ならびに有縁無縁三界萬霊（あらゆるすべての霊魂）の供養をして家内安全・家運長久をご祈念いたしましょう。

合掌

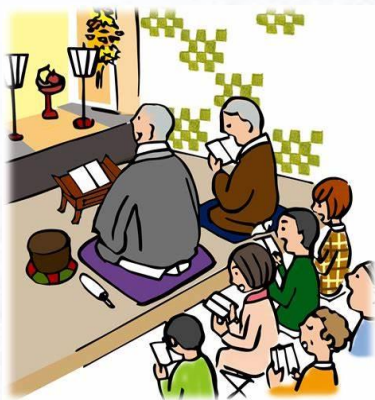
記

《日時》 5月18日（日） 午後2時より
《場所》 医王寺本堂

- お施餓鬼用塔婆／一基3,000円 ※
- 墓参用お花 一束600円 ※
- お線香 一束100円

※お塔婆とお花はご予約にて承ります。同封の申込書にてお願いいたします。

せがきえ 施餓鬼会について



施餓鬼会とは、餓鬼に施す法会のことです。布施の実践の一つです。一杯の器の水と飲食を陀羅尼の力や諸仏の慈悲心により飢餓に苦しんでいる餓鬼たちに与え、その善行功德によって三界萬霊・過去精霊すべての成仏を願う法会です。施餓鬼の「餓鬼」とは、常に喉が渇き飢えに苦しむ存在です。僧は食事をいただく時、餓鬼のために七粒のご飯を取り置きます。これを生飯といい、「汝等、鬼神衆よ。我れ今、汝に施す。七粒を十方に遍くして一切の鬼神に供えんことを」と祈りを込めて、施しています。また「餓鬼」とは、自分自身の心のあらわれの一つでもあり、むさぼりの心に捉われがちな私たちの心の象徴です。これらに対して「施餓鬼」という布施行を行い慈悲を施すのです。布施とは、むさぼる心をなくすことにその根本があります。

つまり「施餓鬼会」とは、檀信徒のみなさまが、施主となって、布施行を行い、塔婆を建立し法要を執り行います。その功德を廻らして、ご先祖さまへと施すのです。仏教では、苦しんでいるものに慈悲の手を差し伸べることの大切さを説きます。施餓鬼会は、自分たちとは直接関係がないように見える、未だ成仏していない餓鬼や無縁の諸霊を供養することを通し、菩薩の実践行である布施行を行う良い機会なのです。

〈事前のお施餓鬼塔婆お申込みに関して〉 ※古くなったお塔婆は「古塔婆入れ」へお入れください。

お施餓鬼用塔婆料は、一基3,000円となります。

お塔婆お申込みされる方は、同封の用紙にご記入の上、

FAX: 042-377-1053

でお申込みいただくか、または当寺ホームページの塔婆申込専用メールフォームにて

お申込みをお願いいたします。

【<http://iouji-inagi.com/script/mailform/touba/>】 →→→→

